



父バナレ、子バナレ

パパが、
恋人のライバル!



愛のチキパパ

等 植木 知佳
高見 司
山下 満
平田 武彦
前田 純次
高田 智子
林 美智子
布施 明

監督 栗山 富夫
原作 やまさき 十三
北見 けんいち (女性セブン) 連載中



ムスメ頑張ル!

中原紀代子
林美智子

中原修二
植木 等

中原里子
高見知佳

加ナサ 徹
名島 中川
脚本 堀弘
関根 俊夫
安田 浩助
美術 重田 重盛
音楽 三木 敏悟



松竹映画

一年ぶりに
寅さんに逢える!
やっぱり「寅さん」がないと
年が明けない。

お待たせしました
37作

原作・監督 山田洋次



男はつらいよ

幸福の青い鳥

松竹映画



脚本 山田洋次
撮影 朝間義隆
高羽哲夫
島津 清
中川 滋弘
山本 直純
出川 三男

長 美 有 笠 前 吉 佐 太 三 下 志 倍 渥
瀧 保 森 田 岡 藤 幸 崎 條 穂 賞 美
剛 純 也 智 秀 次 千 正 美 千 千
剛 純 実 衆 吟 雄 郎 雄 子 巳 悦 恵 恵 清

■スタッフ■
原作 山田洋次

やまさき十三作
北見けんいち(画)
〔女性セブン連載中〕

植木 知佳
高見 真司
山下 恵子
飯干 恵子
神津 はづき
アバツチ けん

石倉 三郎
新井 康弘
冷泉 公裕
鷲尾 真知子
桜井 センリ

前田 武彦
高田 純次
平田 満
林 美智子
布施 明子

志穂美悦子
倍賞千恵子
渥美 清
■キャスト■

三崎 千恵子
太宰 久雄
佐藤 蛾次郎
吉岡 秀隆
前田 吟

笠 智衆
有森 也実
美保 純
長洲 剛

■スタッフ■
原作 山田洋次

植木 知佳
高見 真司
山下 恵子
飯干 恵子
神津 はづき
アバツチ けん

石倉 三郎
新井 康弘
冷泉 公裕
鷲尾 真知子
桜井 センリ

前田 武彦
高田 純次
平田 満
林 美智子
布施 明子

志穂美悦子
倍賞千恵子
渥美 清
■キャスト■

三崎 千恵子
太宰 久雄
佐藤 蛾次郎
吉岡 秀隆
前田 吟

笠 智衆
有森 也実
美保 純
長洲 剛

■スタッフ■
原作 山田洋次

植木 知佳
高見 真司
山下 恵子
飯干 恵子
神津 はづき
アバツチ けん

石倉 三郎
新井 康弘
冷泉 公裕
鷲尾 真知子
桜井 センリ

前田 武彦
高田 純次
平田 満
林 美智子
布施 明子

志穂美悦子
倍賞千恵子
渥美 清
■キャスト■

三崎 千恵子
太宰 久雄
佐藤 蛾次郎
吉岡 秀隆
前田 吟

笠 智衆
有森 也実
美保 純
長洲 剛

■スタッフ■
原作 山田洋次

植木 知佳
高見 真司
山下 恵子
飯干 恵子
神津 はづき
アバツチ けん

石倉 三郎
新井 康弘
冷泉 公裕
鷲尾 真知子
桜井 センリ

原作・監督 山田洋次

男はつらいよ

幸福の青い鳥

■かいせつ■

「私、生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使いました根つからの江戸っ子、姓名の儀は車寅次郎、人呼んでフーテンの寅と発します。故ありまして生まれ故郷を離れ、皆さまとお目にかかるとなく高市歩きに明け暮れましたが、このたび一年のご無沙汰で、またありがたく皆さまとともにめでたいお正月を迎えさせて頂きたいと存じます。」

身の程知らずの私儀、葛飾柴又で地道に商いを営むおいちゃん、おばちゃん、そして私にとつてはもったいないほどの妹さくらの心配をよそに、遠く九州ででかしますひとり合点の夢物語、奮闘努力の寅次郎とて、どうぞごゆるりとお笑いくださいまし。」

—— おーい、寅が帰ってきたぞー。

「男はつらいよ」最新37作は、題して「幸福(しあわせ)の青い鳥」。秋になると南へ足向ける寅次郎の前に現れた青い鳥は、真っ赤に染まった秋の夕焼け空を、危なっかしく飛び回っておりました——。

山田洋次監督をはじめとするスタッフは、気合十分にまた新たな心構えで最新作に取組みます。また、車寅次郎こと渥美清、さくらこと倍賞千恵子、そして寅さん一家もますます意気軒高に、一年ぶりに、御目にかかる日を楽しみにしております。

マドンナに志穂美悦子、ゲストスターに長洲剛と期待溢れる顔ぶれもそろって、早くもあの寅さんのタンカバイも聞こえてきそうな今日このごろでございます。

■かいせつ■

少女が大人の女に脱皮していく様は、蛹が蝶に変身するのにも似て、鮮烈で華やかな驚きに満ち、とても魅力的なものです。昔から、それをテーマに数々の名作が生まれましたが、この物語もまた、同じ普遍的なテーマを扱ったものです。どこにでもある何の変哲もない父と娘を主人公にして、純真で無垢なひとりの乙女が、いかに成熟していくかを、愛情溢れる父親の目を通して、スリリングにかつコミカルに描こうというものです。

いわば、親の子離れ、子の親離れが、もうひとつのテーマであります。今は、社会全般に、やや地味めのものが見直されている時代ですが、この作品もそんな風潮に確実にフィットするものになると思っています。

原作は、あの「釣りバカ日誌」のやまさき十三(作)、北見けんいち(画)のコンビで、毎週百万部の売り上げを誇る『女性セブン』の「顔」として現在も連載されており、広い層に渡って息長く読みつがれている稀有なロングセラーです。これを演出する栗山富夫監督は、「俺ら東京さ行ぐだ」「祝辞」で「庶民の持つ哀歓をコミカルな喜劇として爽やかに演出した」として、昭和60年度の芸術選奨新人賞を受賞し、この作品が、受賞後第一作となります。

父・修三に植木等、母・紀代子に林美智子と、栗山監督作品の「顔」ともいえる二人の出演に加え、娘・里子に高見知佳、里子の不倫の相手・姫田に布施明、恋人・速水に山下真司と、新鮮なキャストینگも揃いました。

‘87年お正月、「男はつらいよ・幸福の青い鳥」とともに、負けず劣らずの見ごたえのある、爽やかな作品の誕生となります。

マドンナ

志穂美悦子



昭和30年10月29日、岡山生まれ。昭和47年JAC(ジャパン・アクション・クラブ)入り。映画初主演は、「女必殺拳」(東映)で、その後映画出演多数。JACのミュージカルにも多数出演。歌って踊れる女優として、早くから注目を浴びていた。また、TV「軟道」のいい子悪い子普通の子おけけ子(CX)に出演し、新境地を開拓して人気を博した。最近の映画出演は、「上海バンスキング」(松竹)、「二代目はクリスチャン」(東宝)、「熱帯人事件」(東宝)など、女優としても人気急上昇中である。

ゲスト

長洲 剛



昭和33年9月7日、鹿児島生まれ。昭和33年(東宝E・M・I)「恋恋歌」にて本格的にアーティスト・デビューを飾る。昭和35年「順子」のビッグ・ヒットによりトップ・アーティストへ。その後、完成度の高いストーリーとアルバム作りにおいて評価を得続ける。昭和38年、初の主演ドラマ「家族ゲーム」(TBS)スタート。高視聴率の人気番組としての評価も高く、高視聴率の人気もビッグ・ヒットとなる。その主題歌「青春」昭和39年、主演ドラマ「親子ゲーム」で志穂美悦子と共演、人気番組となる。



公開

12.20

熊本松竹